



多木肥料の流し込み施肥

困った!!
一発施肥で肥切れが...

そんな時に!! 流し込み施肥で
イネの元氣を取り戻そう!



多木V化成の流し込み施肥は・・・

元肥一発施肥における、生育後半の高温や地力低下による肥料切れを補うための施肥です。

1. 特長

- 多木肥料の流し込み施肥は、水口に**多木V化成**を置くだけで簡単に施肥が出来ます。
- 肥料袋に切込みを入れることによって袋内に水が入り、肥料が水と空気で攪拌され液肥状態で袋から肥料が出て行き、均一に広がります。

2. 流し込み施肥に適した水田条件

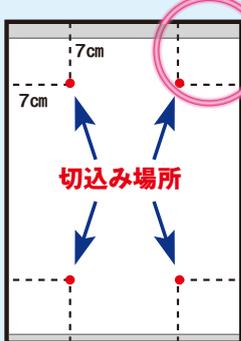
- 水流がある程度確保できる（10aの水田で1時間に1cm以上、30aで0.3cm以上の水が入る水田）
- 水田面の高低差が少ない（高低差は3cm以内が望ましい）
- 水田の日減水深が大きくない（日減水深が3cm/日以下が良い）
- 7cm程度の水を溜められる（高い畦の水田が適している）

3. 肥料袋への切込み方法

①切込み場所

②切込み方向と長さ

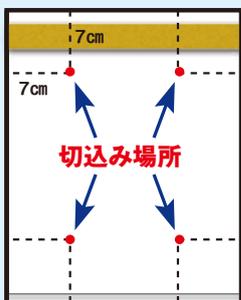
20kg
を施肥する場合



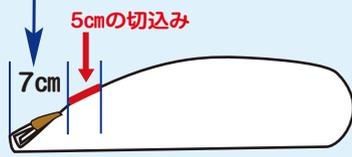
- 肥料袋の表裏に表示している印(↑↓)部分に切込みを入れる
切込み位置は、四隅からタテ7cm、ヨコ7cmで交わる部分に長さ5cmの切込み印(↑↓)が表裏に計8ヶ所入っています。



10kg
を施肥する場合



端を7cm以下に折り込んでテープを貼る



横から見た袋イメージ

- 10kgを施肥する場合は、10kgを別に取除き、袋を折り込んで小さくしテープで密封する。
- 切込みは20kgと同じ方法で行うが、端から7cmの位置に袋の折り込み部分がこないようにし、重なっていない部分に5cmの切込みを入れる。

4. 流し込み手順

1) 肥料の準備 多木V化成 (15-5-15)

2) 足跡水程度～1cm程度の水が溜まっている状態にする

3) 流し込み前の準備

①水尻を閉める・・・畦から水漏れがないか確認する。

②肥料を水口に設置する

●水口に設置し、肥料の上側を水口に向けて置く。

●ひとつの水口で数袋を施用する場合は、1袋を流した後に新しい袋を設置する。

●水量が多い場合は、ひとつの水口に2袋までは並べて置ける。

●肥料袋を設置する場所が凹の場合は、苗箱やブロックを敷き土壌面と同じ高さにする。傾斜がある場合は、平坦になるように設置する。

※施肥量と設置方法(一回の施肥量はチッソ成分で1～2kg/10a)



4) 流し込みのスタート(流し込み時間は1～3時間、追い水1～3時間)

①水を入れる・・・水流は勢いがあつた方がよい。

②肥料が溶ける・・・溶ける時間は水流によって異なるが、1～3時間程度です。

③肥料がなくなる・・・肥料が袋の中に500g～1kg程度残ることがある。その場合は、袋から肥料を取り出し直接流し込む。

④さらに水を流す・・・肥料がなくなっても**追い水を1時間以上**流し込み、水深が**5cm以上**になるよう水を入れる。(水は多い方がよい)

⑤水を止める・・・水口からの流入や、水尻からの漏れがないか確認する。

⑥数日間水を静止・・・**3～4日間**水をそのままにし、自然の減水にまかせる。

5. ECから見た流し込みの均一性(流し込み圃場の一例)

施肥3日経過すると、圃場の肥料濃度は均一になります。

